平成21年5月13日
土木学会コンサルタント委員会

土木技術者実践論文集　編集方針

土木学会コンサルタント委員会は、下記の方針で論文集を発刊します。投稿の際には、この編集方針を十分理解の上、別に定める「投稿要項」、「投稿の手引き」によって原稿を作成していただきます。

記

1. 土木に関わる諸事業を通じて公益の増進を志す優れた土木系技術者を輩出・育成するために、諸事業における技術者の「実践」に関する、他の模範となる有用性に富み独創性・新規性を持つ論文・報告の発表の場として機能することを目指す。過去のベストプラクティスの研究も論文の対象とする。

2. この論文集の主題とする「実践」とは、下記のように各種の要素技術を総合化・統合化したり、新しい概念を形成したり、工学的判断を加えたり、関係者との合意形成を果たしたり、土木技術者の行動が実を結び、課題を克服し、公益の増進に寄与した過程や成果を言う。
    1) 技術融合や総合工学の実践
    2) 事業化および事業の実践
    3) 国際貢献・開発支援の実践
    4) 技術開発・未来技術・将来構想に関する実践
    5) 人材育成・土木技術者の役割と姿・工学者倫理に関する実践

3. 土木学会会員に限定することなく社会の幅広い要望に応え、広汎な支持を受ける論文集を目指す。そのため、偏りのない信条・思想に依拠して客観性を有すること、企業や特許等の広告宣伝でないこと、平易な言語で明快に内容を表現することを本論文集へ登載するための必要条件とする。

4. 「論説」を設け、土木技術者として公益の増進に奮闘された諸先輩や他分野からの招待を含め、高水準の総説・解説や目指すべき姿、最新の取り組みやそこで用いられる方法などを体系的にわかりやすく紹介し、土木技術者の実践に寄与する。

5. わが国における土木系技術教育の成果を国際的に発信することは重要であり、土木学会の使命であり、「英文論文」の投稿を歓迎する。

以上